

# 八街市都市計画審議会会議録

- 日 時 令和4年1月24日(月) 午後2時～午後3時20分
- 場 所 八街市総合保健福祉センター 3階 大会議室
- 議 案 (1) 八街市都市計画マスタープラン(案)について  
(2) その他
- 出席委員 山本委員、荒木委員、伊藤委員、岩品委員、古川委員、小島委員、  
京増委員、桜田委員、小澤委員、小川委員、栗林委員、  
石井委員(代理荏原八街交番副所長)、田村委員、天野委員
- 欠席委員 宇津木委員
- 八街市 市川建設部長  
都市計画課/飯田課長、中川副主幹、布施副主幹、金崎主任主事

(開会前に会長からの提案により、昨年6月28日に発生した痛ましい交通事故により亡くなられたお子様のご冥福と、負傷されたお子様の早期回復を願い黙祷)

## 1. 開 会

## 2. 会長あいさつ

## 3. 議 案

### (1) 八街市都市計画マスタープラン(案)について

会 長) それでは、議案審議を行います。

本日の議案は、八街市都市計画マスタープラン(案)についてであります。事務局より説明をお願いします。

事務局) 配付資料「八街市都市計画マスタープラン(案)」を説明

会 長) ありがとうございました。ただ今、説明のありました議案につきまして、委員の皆さまから質疑、ご意見等をお願いいたします。

委 員) この都市計画マスタープランは、今年の4月から八街市の都市づくりのバイブルとして機能するものである。ですから、あまり大きく修正をお願いすることには時間的な問題があることは承知しているが、私がここでご指摘させていただくのは非常に大きな問題だと思われまます。それは、時間視野の問題があるということです。時間視野とは、どの時点に立って、どこを見ているのかということです。ここで出揃った資料は、平成17年から平成27年の10年間を比較したうえで、この間に出てきた課題に対し、これからのまちづくりの方向性

を示した時間視野だと思えます。この都市計画マスタープランは、総合計画よりも非常に期間が長いものとなります。ですから、都市の最も超長期にわたる重要な計画となり、2022年から2045年という23年間という時間視野を持っています。この間に都市計画マスタープランに基づいて、どんな問題を解消したいのか、という問題の指摘、課題と展望に、2005年から2015年の10年間の変化を用いています。つまり、端的に申し上げますと、20年前、40年前の問題をこれから20年かけて解決しようというのが、この都市計画マスタープランの時間視野になっています。この時間視野は、長すぎると考えます。もう少し直近のデータを使っていたきたい。いろいろなデータが散乱していて時間視野がしっかりしていない。例えば、交通体系の部分は2年位前のデータを、土地利用については、2016年のデータを使っている。この時間視野が悠長な印象を受けます。今回、この都市計画マスタープランをたたき台にして、今後、改正やリニューアル、追加など様々なことが出てくると思いますが、その際には、少しずつでも時間視野という点について、しっかりと定め、どの時点に立ってどこを見ているのか、この時間軸をしっかり設定していただきたい。都市計画マスタープランでは、八街市をどういう市にしたいのか、これはある程度明確にしておく必要があります。資料にあるパブリックコメントでも、曖昧でよくわからないという市民意見があります。しかし、都市計画マスタープランそのものは、漠然としたアイデアを提示すれば、それで役割は果たしますが、もう少し踏み込んだ文章で具体的にリアリティーを持って、八街市をこうしたいんだという理想像を加えて明らかにした方が良いと思います。また、43ページ、考慮すべき社会潮流の中で、2015年の国連アジェンダ（持続可能な開発目標 SDGs）の17のゴールは時間視野では、2030年が目標年次です。この都市計画マスタープランでは、2045年が目標年次となっているため、このアジェンダに基づいた都市づくりを進めても、国際社会では、2030年に実現していることとなります。八街市はこの後もさらに15年遅れて取り組んでいくと受け取ることもできます。これは悠長だと思えます。このような点からも都市の目標として、SDGs を随所に入れているのは疑問を感じます。もう少しオリジナリティーを持って、八街市をこうしたいんだという理念から、それを実現した八街市は、国連アジェンダにも対応できるという切り口でないといけなく考えます。もうひとつ、「Society (ソサエティ) 5.0」という単語が出ています。これは、情報化を目指して、人類の歴史上、狩猟、採集の時代から、農耕社会、工業化社会、を経て情報化社会が4.0という考え方です。この5.0は情報化をさらに進めて、今まで繋がらなかった情報を繋げていこうとするものです。例えば、自動車の自動運転や動物の首輪で所在が感知できるような情報化を進めるものです。この計画も5か年毎に変化しており、これは、内閣府が作成した、第5期科学技術基本法に基づいた考え方です。言い換えるとアベノミクスの成長戦略だったものです。だったと言うのは、安倍政権が既に退陣しています。こういうものをさらに23年間かけて、八街市が目指す情報化のひな形として設定するのは、オリジナリティーが

無さすぎではないか。この都市計画マスタープランに基づいて、アクションプログラムを作って、国に対して補助金を求めても難しいのではないかと思います。既に使命を終えた政策ポリシーに未練を残して、都市計画マスタープランに位置づけていくというのは、スタンスが違うのではないかと考えます。また、81ページの市民アンケート調査結果に、都市計画の最優先エリアが定められていますが、市民アンケートをすると左上の課題は、永遠の課題と言われている、改善しても改善しても満足度が上がらない課題になっています。逆に都市計画マスタープランで引き上げを考えなくてはいけない部分は、この最優先エリアの右下にあたる部分を斜めに引き上げ、満足度も重要度も高まる方向に進めた方が良いと思います。地域振興の通説に従い、永遠の課題に取り組んでいくチャレンジ精神は素晴らしいが、プライオリティーの優先順位の置き方は、もう少し八街市独自の見解を打ち出した方が良いのではないかと考えます。次に、11ページの人口ピラミッドについて、平成17年の0歳から4歳の、10年経過すると、平成27年の10歳から14歳になります。ここでは、1562人の女の子が生まれるが、10年経過すると、1529人になり33人減少しています。男の子は1581人生まれて、10年経過すると、1633人になり男の子は48人増えています。女の子の減少は、転居など社会変動もあると思うが、早くに亡くなってしまったのか。人口ピラミッドの細かな数字1つ1つにこだわる必要はないが、データとして疑問を感じます。また、細かいところですが、43ページのSociety5.0に掲載されている「IoT」は小文字で表現されているが通常はしません。「IoT」が正しい表現になります。繰り返しますが、この都市計画マスタープランでは、具体的なオリジナリティーを持って八街市をこういう都市にしたいというメッセージが、残念ながら感じられません。都市の課題を明確に自覚しているのか疑問に思います。問題の指摘はしているが、問題の核心はどこを改善していけば良いのか、どういう改革をしていけば良いのかという点が不足しています。最近では、八街市での痛ましい事故以来、マスコミでも多く取り上げられ、その中では警察から提供された交通量や速度のデータが公表されていました。そのような情報なども取り入れて、指針を与えるものでなければならないのではないかと考えます。アベノミクスや2030年の国際目標にこだわるのではなく、もう少し違った未来を見ながら、変化を柔軟に取り込んでいく都市計画マスタープランであって欲しいと思います。

**事務局)** ご意見ありがとうございます。まず、今回の都市計画マスタープランの策定にあたっては、20年以上が経過しており、当時と比べて状況がどう変化してきたか。また、市が実施した事業の進捗整理を図りながら作成してまいりました。この都市計画マスタープランは、上位計画である総合計画に基づいて作成しております。総合計画は令和6年度までが事業期間となっております。そのため、委員のご指摘のとおり真新しいものや特長のあるものについては、上位計画を超えて作成することが難しい現状があります。その点につきましては、今後の

見直しの段階で調整したいと考えております。なお、個別の統計データ等は、総合計画や千葉県の都市計画区域マスタープランの見直しにあわせて、改訂できる体制を整えてまいります。

**委員)** 私は都市計画審議会委員として、本日が2回目の出席になります。前回の会議と今回の会議を聞いていて気になった点を申し上げます。先ほど専門家の委員から多くのご意見がありました。私は、専門家を交えたうえで、この都市計画マスタープランを作っているのだと思っていましたが、そうではなく、世の中の変化が早くなっているにもかかわらず、端的に言えばかなり遅れているのではないかと前回よりもさらに感じました。専門家の委員から、ちょっとおかしいということになると、何をされているのかなと感じるところです。話は変わりますが、私の記憶ですと、今年に入って八街市長が、成田空港の関係で協力を図っていくための会合に出席したと聞いています。端的に申し上げれば、八街は、成田空港建設に反対したためのマイナスが全部出ていると思います。成田空港の歴史上も八街の記述がありません。八街が国家プロジェクトを断ったがために、その後の発展に影響を及ぼしていることは間違いありません。もう1度この都市計画マスタープランを見直して、最新の政治や経済の流れを把握したうえで、実りある都市計画マスタープランだと思われるよう、修正を重ねて頑張ってくださいたいと思いますがいかがでしょうか。

**事務局)** ご意見ありがとうございます。この都市計画マスタープランを作成するうえでは、上位計画や庁内の関係各課と連携、調整を図りながら行っていく必要があります。今回、このマスタープランに不足する部分については、見直しが必要な項目として理解したうえで、適切な時期に見直しを進めたいと考えております。

**委員)** 先ほど、成田空港に反対したことが今の八街につながっているという発言がありました。私はその時、八街におりませんでした。その時の八街の方々、成田空港ではなく、自分達でこの街を作っていくんだという思いがあったんだと思います。これからの八街市は、今後どういう街を目指すのかが大事だと思います。しかし、この都市計画マスタープランを読んでも、よく分からないというのが本音です。20年以上の計画はなかなか実感が沸きませんし、2030年以降のことは想像もつかないが、そこも考慮する必要があります。また、平成、令和という元号表記は継続性が分かりづらい。西暦表記に統一していただきたい。SDGsを取り入れるのは良いが、それを達成するためにはどうしたらよいか重要です。例えば、八街の農業と食糧自給率との関係や公共交通の利便性向上と自動車交通量との関係など、より具体的な記載が必要ではないか。

**事務局)** ご意見ありがとうございます。西暦表記については、可能な限り修正させていただきます。具体的な記載につきましては、個々の計画の中での検討となります。

すので、都市計画マスタープランの内容と整合が図られるよう調整を図ってまいります。

委員) 道路の安全の問題は、何年も前から改善して欲しいという要望が、市民から多く寄せられています。例えば、公共交通が充実すれば、マイカー利用が減り、交通事故が減る可能性もあります。そういう発想が必要ではないでしょうか。

委員) 都市計画マスタープランにあまり個別の項目を入れる必要はありません。都市計画マスタープランはファジイで、見ていていろいろな発想がわき上がるものが良いと思います。ある面ではアバウトに書き、この都市計画マスタープランを受けて個別のアクションプランが作られます。この時にはもっと明確に絞り込んで書く必要があります。今の時点でどこまで明確に入れ込むかは、非常に難しいところではあります。

委員) 89ページの中央地域の地域別構想の中に、キャッチフレーズが掲げられているが、抽象的な表現に感じます。もっと地域の皆さんが、この地区の将来像がイメージできるものでないと何か物足りない。先ほどの、具体的な話をどこまで盛り込むかはあると思いますが、例えば八街駅北口用地の有効活用や、道路問題などがあるはずですが。これまでの、発想を大きく変えてまちづくりに取り組んでいただきたい。八街は、道路が悪い代名詞のように言われています。新しい道路を作ることは難しいが、発想を大きく変えて、例えば、八街五叉路から三区十字路間の道路では、これまで両側にグリーンベルトがあり、歩行者は狭い側溝の上を歩いていました。現在は、グリーンベルトを片側に寄せて、歩道幅を広くとれるよう改善されています。まちづくりには、このような発想の転換が必要と考えます。

事務局) 地域別構想の作成にあたっては、本来であれば各地域にお伺いして地域の課題や目標を設定していく方向で考えておりましたが、新型コロナウイルスの感染拡大による緊急事態宣言の発出等により、やむを得ずアンケート方式により地域のご意見を伺いました。地域のキャッチフレーズについては、このアンケートによるご意見を考慮したうえで作成したものであります。なお、個別具体的な事項については、先ほどもご説明したとおり、個々の計画の中での検討となります。したがって、掲載が難しい部分がありますが、上位計画や関連計画との整合性が図られたものについては、次回見直し時に盛り込んでまいります。

会長) 他にご意見等がなければ、本案件については、市長から当審議会に諮問されており、答申する必要があります。つきましては、本案につきましては、原案のとおりとしますが、委員の皆様から本日いただいたご意見を踏まえ、実現可能な施策を中心に、着実に都市づくりが推進されることを希望するとの意見を付して、答申することとしていかがでしょうか。

委員) 異議なし

会長) ありがとうございました。それでは、文面については、私と事務局に一任いただき、後日改めて委員の皆様へ配布させていただきます。そのうえで、当審議会の答申とすることでいかがでしょうか。

委員) 異議なし

会長) ありがとうございました。続きまして、議案(2)その他について何かございますか。

事務局) こちらから、補足で申し上げます、今後のスケジュールについてでございますが、当審議会の後、八街市へ答申を行い、八街市都市計画マスタープランの策定へ進めさせていただく予定でございます。

会長) 他に何かございますか。ないようでしたら議案(2)その他を終了します。長時間にわたる慎重なるご審議ありがとうございました。

#### 4. 閉 会